



動物公園でのもちつき大会(若葉区)

## 浜野駅橋上化に伴う自由通路の整備決まる

### 可決した主な議案

#### 《予算》

##### 一般会計補正予算

10月20日執行の衆議院議員選挙経費を専決処分したほか、国庫補助金の決定に伴い合併処理浄化槽設置補助金を追加し、(仮称)蘇我町線用地買収費やごみの減量化を推進するための生ごみ減量処理機購入費補助金、さらに豪雨や地震などの災害に備えるための道路防災総点検委託費など、合わせて十三億八千六百万円を追加しました。この財源としては、市債五億九千五百万円、繰越金四億八千四百万円などとなっています。これにより一般会計の予算総額は、三千二百九十八億六千七百円になりました。

このほか、浜野駅橋上化に伴う自由通路整備事業費の債務負担行為の追加をしました。

##### 特別会計補正予算

千葉市国民健康保険事業特別会計など5事業会計に、合わせて十一億三千百万円を追加しました。これにより特別会計の予算総額は、二千七百四十二億九千百万円になりました。

#### 《条例》

##### 千葉市水道事業の設置等に関する条例の一部改正

新たに若葉北部地区簡易水道事業を設置し、この事業に地方公営企業法を適用するなどの改正を行うため、条例の一部を改正します。

##### 《町の区域及び名称の変更》

土気緑の森工業団地造成事業に伴い、大木戸町、大推町のそれぞれ一部を、大野台1丁目・2丁目に変更します。

##### 《土地の取得》

市道下田町7号線および135号線道路新設改良事業の用地として、若葉区下田町、谷当町の土地を二億九千七百万円で取得します。

##### 《工事請負契約》

若葉区中野町地内の東部最終処分場増設浸出水処理施設新設工事を七億五千七百万円で行います。

### 第4回 定例会のあらまし

平成8年第4回定例会が、11月28日から12月13日までの16日間の日程で開かれました。

この定例会では、一般会計補正予算および条例の制定など15件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

さらに、意見書8件、請願2件を審議しました。

また、各会派の代表質問が7人の議員により、一般質問が9人の議員により行われました。



# 代表質問から



12月5日(市民自由クラブ・市政会)、6日(民主新政クラブ・千葉市議会公明・日本共産党千葉市議会議員団)、9日(市民ネットワーク・市民クラブ)の3日間にわたり、7会派の代表から市政運営などについて質問が行われました。

## 民主新政クラブ

### 縦割行政の解消について

**Q** 中央省庁の再編や縦割行政の解消のため、調整機能を活用し、活発な体制の整備が求められる。例えば、道路行政における局・部の分散解消や下水・処理行政の一元化、介護福祉行政における保健・医療・福祉の連携などの課題についてどうお考えか。

**A** 複雑・多様化する行政需要に応えるため、これまでも、組織の見直しや再編などを行い、効果的な組織のあり方を模索してきた。

今後、道路行政、下水・処理行政、更には、平成7年7月に設置した高齢者相談窓口の充実などによる保健・医療・福祉行政の連携強化なども念頭に置き、社会経済情勢の変化や新たな行政課題、多様な市民ニーズなどに即応した行政サービスが提供できるよう、組織機構の整備に努めたい。

### 人口問題について

**Q** 平成8年5月スタートした「みるみる」プロジェクト(人口増加施策検討会の愛称)の課題と現状をおよ



造成の進むおゆみ野

び今後のスケジュールと取り組みにあたっての考え方を伺う。  
また、現在の大規模住宅団地の造成状況と計画予定およびそれに伴う人口増加について伺う。

**A** 「みるみる」プロジェクトについては、検討を重ねて「宅地開発関連施策」(緑交交通対策「新しいまちづくり」)などの施策分野に整理している。短期的施策は概ね終了、現在、長期的施策のとりまとめを急いでいる。短期的に対応する施策は、概ね3年以内と考え、中長期的施策は、十数年間を視野に実施する施策や、次期基本計画に取り込んでいくべき施策などに整理したい。

また、現在入居が進められている主な大規模住宅団地の計画人口は、「おゆみ野」など全体で約14万3千戸、現在までに4万人の入居があり、今後10万人余の増加が見込まれる。

## 市民ネットワーク

### 市民活動支援について

**Q** NPO(民間非営利組織)法案は、まだ制定されていないが、自治体の中には市民活動を支援する動きがある。このような市民活動支援の新しい方向についてどのように取り組むのか。



ボランティア活動を体験する市民

また、市民事業や有償ボランティアなどもNPO市民活動と見做ることが必要だが見解を伺う。

**A** 地方自治体の役割や責任の増大が見込まれる中で、災害時のボランティア活動や高齢社会への対応など、幅広い分野で市民の自主的、自発的活動に力づくることが大きく、自発的の観点から、地方分権の時代の方向としては望ましいと考えられる。

ボランティア活動は、自主的、自発的活動が基本で、行政の関与や指導はなさない。当面は、営利を目的とせず社会を支える様々な活動をどのような団体が行うか、どの範囲までがNPO市民活動なのか把握に努める。

また、NPO法案の動向にも注意を払い、適切な対応が図れるよう各分野の連携に努めたい。

## 市民自由クラブ

### 敬老乗車券について

**Q** 現行の敬老乗車券制度は、バスだけを対象としており、市民の身近な足となっているモノレールについては、対象外となっている。

**A** 平成5年度に路線バスを給付対象とした敬老乗車券支給制度をスタートさせ、翌年度には、利用範囲を市内のみとしたものを、本市と隣接する市や町への通行にも利用できるよう充実を図った。

モノレールを対象とした敬老乗車券については、現在、千葉都市モノレール株式会社と協議を進めており、今後、できるだけ早期に実現できるように努力したい。

### 救急医療体制について

**Q** 緊急時の医療体制に關して、午後5時から午後9時まで、早朝6時から午前9時までが診療時間の空白時間帯となっている。



海浜病院内の夜間救急初期診療

**A** 海浜病院夜間救急初期診療における空白時間帯の存在や同病院内の診療科目の偏りを強く望んでいるモノレールを、敬老乗車券の利用できる対象にすべきと考えるがどうか。

このため、地域保健医療協議会の中に、専門家からなる救急医療対策検討小委員会を設置し、今後の救急医療体制の在り方について検討している。現在、進められている両市立病院の再整備計画と併せて、課題の解決に向けて努力したい。

## 市政会

### 職員研修の充実について

**Q** 高齢者福祉に必要な施策や事業活動の展開にあたり、行政の各部門に広く関係するため、全職員が高齢化に対する意識を高めることが肝要である。そこで、高齢化に向けた職員研修の取り組み状況と今後の研修体制について伺う。



職員研修

**A** 現在、新規採用職員には急速に進む高齢化の現状と行政が取り組むべき課題について講義を行うほか、主任級職員には、「高齢者介護」に関する学習の時間を設けるなど、高齢者福祉に対する研修に努めている。

今後、管理監督者の研修に「高齢化の現状と課題」とともに、ボランティア研修や研修専門機関などへの派遣研修も検討したい。

### 新内陸最終処分場について

**Q** 新内陸最終処分場の建設に当たっては、埋め立て後に跡地利用を決めるのではな

く、当初から地域整備構想を地元と協議し、理解を得ることが事業の推進につながるものと思われ、そこで、最終処分場の整備計画を推進するにあたっての見解と、新内陸最終処分場の整備にあたっては事業同意を得る段階で、周辺地域を含めた整備構想を示すことが、地元との理解と協力を得る上で不可欠なことと認識している。この考え方のもとに、地元自治会と協議し、事業の円滑な推進を図っていききたい。

また、新内陸最終処分場整備事業の進捗状況は、環境影響評価の実施について、関係自治会の了解を得て、平成8年7月まで現況調査を行った。現在は、環境影響評価の調査結果がまとまったので、関係自治会にその説明会を実施している。

## 千葉市議会公明

### 乳幼児医療費助成制度の拡充について

**Q** 乳幼児医療費助成制度は、所得制限を設けてはいるものの、平成6年度では1歳未満児について、入・通院全額無料とし、平成7年度には2歳未満児まで拡大が図られたが、この制度は子育てに伴う経済的負担を軽減し、子育てを支援するものと考えられる。更なる拡充を求めるが、見解を伺う。

**A** 本制度は、乳幼児の医療費の一部を助成し、乳幼児の保健の向上と児童福祉の増進を図ることを目的とし、逐次制度を拡充してきている。21世紀の少子・高齢社会を活力あるものとするためにも、子育て支援は非常に重要であり、本制度はそ

の効果を高める方策の一つであることから、他の政令指定都市の状況なども参考にしながら、慎重に検討しているところである。

対象年齢の拡大は、「婦人の健康づくり」や「ねたきり予防」という観点からも必要性が指摘されており、今後の健康診断の受診状況や国の骨粗鬆症診断マニュアルなどの動向を勘案し、検討していきたい。



骨粗鬆症健診

本年度は、1500名の計画であるが、10月現在で1100名の応募があり、今後さらに応募が見込まれる。

また、骨粗鬆症の予防と骨質の向上を図るため、対象年齢を40歳以上にも拡大すべきか検討中か。

## 市民クラブ

### 第6次5か年計画の見直しについて

**Q** 本市の第6次5か年計画は、総額七百四十億円で、起債二百九十億十億円を主な財源とし、市税収入を含む一般財源は一千六百三億円で、多額の起債に依存する本計画を根本から見直すことが必要と考えるが、見解を伺う。

**A** 5か年計画の財源見直しについては、国の経済見通しに基づき推計作業を行った。市税収入が厳しい中で市民の要望に応えるために、市債を有効活用し、毎年度の地方債の比率を15%以内にとめることを前提に推計した。

本市の場合、5か年計画に大部分が起債を財源とした公営企業会計を含む全ての事業を計上しているため、全体として、市債依存度は高くなっている。したがって、現時点では多額の起債に依存する理由によって、計画そのものを見直すことは考えていない。

### 外郭団体のスリム化について

**Q** 行政改革の時代に、市組織のスリム化は当然だが、外郭団体についても、事業内容に類似性のある団体の統廃



統合された海洋スポーツ協会

合を行うなどスリム化に努めるべきか検討を伺う。

**A** 外郭団体は行政の補完的な組織として、重要な役割を果たしてきた。本市の外郭団体の数は、他の政令市と比較してもかなり少なく、それぞれが異なる分野を担っている中で、今年度、千葉市スポーツ振興財団と千葉市海洋スポーツ協会を統合した。

今後、地方自治体の果たすべき役割がますます増大する中で、外郭団体の担う役割も一層大きくなることと期待されている。この点について、今後努力したい。

また、この点について、今後努力したい。

## 日本共産党千葉市議会議員団

### 消費税の増税中止について

**Q** 消費税の増税は、千葉市に大きな影響があり、増税中止を国に求めるべきかどうかが。

**A** 平成6年の増税改革において、中堅所得者層の負担の軽減を図り、高齢化社会や福祉などの経費を社会が負担するよう求めるが、このため、低金利の起債への借り換えの条件緩和を政府に働きかけることが基本的には決まっています。

また、総選挙後の臨時国会での所信表明において、首相は恒久減税と一体となった消費税の引き上げを予定しており平成9年4月から実施したいとの考えを示している。

市債などの借入金の利率については、千億円を超え、償還金も増え続けている状況にあるが、膨大な借入金の利率を引き下げるよう求めるがどうか。

**A** 政府系資金は、借り入れ側が負担するが、借り入れ側は、認められないのが現状である。このため、低金利の起債への借り換えの条件緩和を政府に働きかけることが基本的には決まっています。

その結果、公庫資金のうち水道事業の企業債は平成7年度より低利の起債に借り換えが認められたが、引き続き改善を国に強く要望していきたい。

市債などの利率の増加は、将来の財政負担となるので、今後、低金利の引き下げや低利公債への借り換えなど、国や金融機関に働きかけ、鋭意努力し公債費の削減に努めたい。

### 可決した意見書(要旨)

議員提出議案として8件の意見書を上程し、次の2件を可決しました。可決した意見書は、関係省庁などに提出しました。

#### デポジットの法制化を求める意見書

平成9年4月より、容器包装リサイクル法が施行されることにより、リサイクル社会への新たな一歩になるものと期待されている。

しかし、排出段階における廃棄物の減少は望めず、回収を担う自治体の経費負担は益々増加する。また、容器包装以外の家電製品から自動車に至るまでの不法投棄の処理も自治体が行わなければならないのが現状である。

よって、容器包装については、そのリユースが可能なものは、事業者による製品開発と回収ルートを確認し、ワンウェイ容器についても、デポジットの法制化を実施すること、容器包装以外の製品も円滑に回収・再利用されるよう現行制度の見直しおよび新制度の創設について検討することを要望する。

#### 道路特定財源の完全確保と道路整備促進に関する意見書

道路は、豊かな生活の実現と国土の均衡ある発展を図るための最も基本的な施設である。

国際都市千葉市としても、21世紀に向け活力ある地域づくり、豊かなまちづくりに向け、広域幹線道路から市町村道に至る道路網の、なお一層の整備促進が是非とも必要であり、その実現には第11次道路整備5か年計画の完全達成が不可欠となる。

よって、平成9年度の道路整備費の大幅な拡大確保が図られるよう配慮し、現行の道路特定財源諸税を堅持するとともに、地方の道路整備財源について充実強化することや、一般財源の投入を大幅拡大することなどを強く要望する。

# 委員会審査から



経済建設委員会審査風景

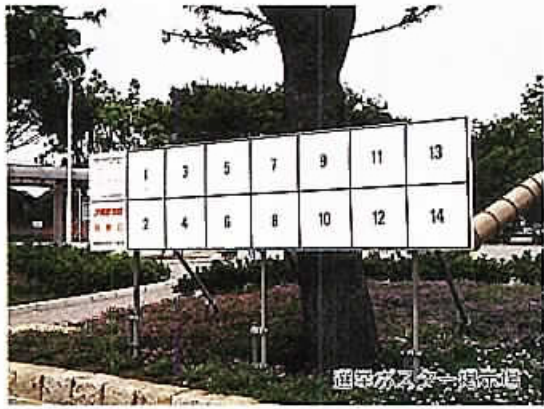
## 常任委員会

12月3日に開かれ、議案9件、請願2件、陳情6件を審査しました。その結果、全議案を可決し、請願・陳情は、採択送付1件、不採択2件、継続審査5件となりました。

### 総務委員会

(所管)総務局、企画調整局、財政局、会計室、選挙管理委員会など  
一般会計補正予算に係る専決処分など議案2件、陳情1件を審査し、国政選挙などの選挙経費やポスター掲示場をふやす考えがあるかどうかについて、質問がありました。

不採択



選挙ポスター掲示場

### 民生教育委員会

(所管)市民局、福祉局、教育委員会  
国民健康保険事業特別会計補正予算など議案3件、陳情1件(継続)を審査し、国民健康保険料の滞納世帯数と滞納への対応策や、支払いが困難な人に対する補助制度などについて、質問がありました。

### 環境消防委員会

(所管)環境衛生局、清掃局、消防局、水道局  
水道事業の設置等に関する条例等の一部改正など議案3件、陳情1件を審査し、若葉北部地区の簡易水道事業の実施に関し、給水が可能になる時期や総事業費などについて質問がありました。

不採択

### 経済建設委員会

(所管)経済農政局、建設局など  
一般会計補正予算など議案3件、請願2件(継続)を審査し、道路防災総点検について、阪神・淡路大震災などを踏まえ改正された、点検のための新しい技術基準と従前の基準との違いなどについて、質問がありました。

都市下水委員会  
(所管)都市局、下水道局  
一般会計補正予算、市街地再開発

## 千葉市の並木道

中央区中央4丁目



## 市議会の権限

市議会は、市民の代表として十分な活動ができるように、いくつかの重要な権限をもっています。その主なものには、次のようなものがあります。

- 議決権 市議会の最も代表的な権限で、条例や予算を定めたり、決算を認定したり、重要な契約などの決定をします。
- 選挙権 市議会の議長、副議長や選挙管理委員などを選挙します。
- 同意権 市長が助役、収入役、監査委員などを選任する場合に同意を与えます。
- 調査権 市の事務を独自に調査し必要に応じて関係者の出頭や証言などを求め、審査をします。地方自治法の第100条に定められていることから、一般に百条調査と呼ばれています。
- 検査、監査の請求権 市の事務について、議会の議決どおり執行されているか、書類や計算書を検閲したり、金銭出納の執行状況を検査したり、市の監査委員に監査を求めるなど、市政を監視します。
- 意見書の提出 市の公益に関することについて議会の意思をまとめた意見書を国などの関係機関に提出します。
- 請願受理権 住民の考えを市政に反映させるため、住民から提出された請願書を受理し、審査をします。



動物公園

事業特別会計補正予算の議案2件、陳情3件(継続2件)を審査し、浜野駅自由通路整備事業の自由通路、駅舎の規模と福祉的配慮などについて、質問がありました。

採択送付

## 特別委員会

廃棄物処理問題対策特別委員会  
10月14日に開かれ、新港清掃工場の代替工場の建設について調査しました。また、11月13日は、容器包装リサイクル法について調査しました。

大都市税財政制度調査特別委員会  
10月4日に開かれ、党派別要望運動に係る本市の重点要望事項について協議しました。



JR浜野駅

## お知らせコーナー

**傍聴のご案内**  
平成9年第1回定例会は2月25日(火)に開会する予定です。本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。  
傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。  
会議日程は2月21日(金)に決まる予定です。

**市議会だより」の点字版と録音版(テープ)を発行しています。**  
配布を希望される方は、ご連絡ください。  
**会議録の閲覧**  
本会議の審議状況などを記録した会議録は、市議会図書室、市政情報室、市立の図書館(北部・南部・東部・こてはし・高洲・みやこ)や県立中央図書館で閲覧できます。  
なお、第4回定例会の会議録は、次回の定例会までに作成する予定です。

## 一般質問

市政に関する一般質問が、12月10日から13日までの4日間に9人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- 行政改革について
- 高齢者福祉について
- 障害児福祉について
- 保育問題について
- ホームヘルパーについて
- 市民文化都市について
- 清掃工場について
- 安全な街づくりについて
- インナーシティ問題について

## 編集後記

※表紙の写真は、1月5日に若葉区にある動物公園の動物科学館前広場で行われたもちつき大会の様子です。

動物科学館は、「動物のことをより良く知ってもらおう」ということをテーマとしており、ふだん見ることができない夜行性動物の生態と霊長類の中で最も小さいヒグミーマーモセットなどの小型サルや熱帯の鳥たちを見て楽しむことができます。また映画会などの催し物に利用できるレクチャールームや動物についての本を集めた図書室などがあります。家族そろって動物園で楽しんでみてはいかがでしょうか。

※今回は、第4回定例会を中心に掲載しましたが、今後とも議会の動きをより分かりやすくお届けしたいと考えております。  
お読みになりましたら、ご意見、ご感想がありましたらお聞かせいただきたいと思います。

「ちば市議会だより」発行委員会  
問い合わせ先 議会事務局調査課  
☎(043) 245・5472

